

令和7年度
舞鶴市保幼小架け橋プログラム
報 告 書





目 次

はじめに

舞鶴市保幼小架け橋プログラム報告

舞鶴市保幼小架け橋プログラム報告 2

架け橋活動ドキュメンテーション報告

● 八雲保育園	9
● 中保育所	11
● 池内幼稚園	13
● 倉梯幼稚園	15
● 志楽幼稚園	17
● ひばり幼稚園	18
● 朝日幼稚園	19
● 朝来幼稚園	21
● 岡田こども園	23
● シオン幼稚園	25
● タンポポこども園	27
● なかすじこども園	29
● 中舞鶴幼稚園	31
● やまもも保育園	33
● 永福こども園	34
● さくらこども園	35
● 昭光保育園	36
● 相愛こども園	37
● 平こども園	38
● 橘幼稚園	39
● 東山こども園	40
● 舞鶴聖母幼稚園	41
● ルンビニこども園	42
● うみべのもりこども園	43
● 舞鶴こども園	45

ニュースレター

第1号	48
第2号	49
号 外	51
第3号	53
第4号	55
第5号	58
第6号	60
第7号	62

公開園指導案

● 朝来幼稚園	67
● 相愛こども園	79

乳幼児教育ビジョン推進事業報告

事業報告	92
推進事業一覧	95

は じ め に

日頃より本市の乳幼児教育及び学校教育の推進に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国において令和4年度に示された「幼保小の架け橋プログラム」では、5歳児から1年生までの2年間の「架け橋期」とし、生涯にわたる学びと生活の基盤を築く極めて重要な時期として、保育・教育の質を保障することが求められています。本市におきましても、令和7年度より、舞鶴市乳幼児教育ビジョンの基本理念である「主体性を育む乳幼児教育の推進～みんなでつながり育む舞鶴のこども～」の実現と、舞鶴市教育振興大綱の基本理念である「0歳から15歳までの切れ目ない教育の充実」に向け、これまでの「保幼小連携」の取組を引き継ぎつつ、架け橋期の乳幼児教育および学校教育の向上をはかり、さらに充実した活動となるよう「舞鶴市保幼小架け橋プログラム」として取り組んでまいりました。

本プログラムの実施とその推進に向けた取組等については、神戸大学大学院 北野幸子会長をはじめ、保育所・幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、子育て支援に関わる団体などの代表者を委員として構成される「舞鶴市架け橋プログラム検討会議」において、ご意見等をいただきながら進めてまいりました。また、本会議での意見も反映させながら、モデル園校（橘幼稚園・うみべのもりこども園・三笠小学校）を中心に、学びの連続性を具体化した「架け橋期のカリキュラム」の作成にも取り組んでおります。引き続き、モデル園校を中心に、架け橋期のカリキュラムの検証・改善に向けて進めて参りたいと考えております。

特に、5歳児と1年生の活動（架け橋活動）では、こどもにとって「学びを深める 学びをつなぐ」架け橋活動となるように取り組んでいただきました。また、各協力園校にとっても、架け橋活動や研修を通じて、対話し、互いに理解を深める機会となっており、引き続き、取組を進めて参りたいと考えております。

今後とも本市の乳幼児教育及び学校教育のさらなる発展に向け、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

舞鶴市乳幼児教育センター
舞鶴市教育委員会



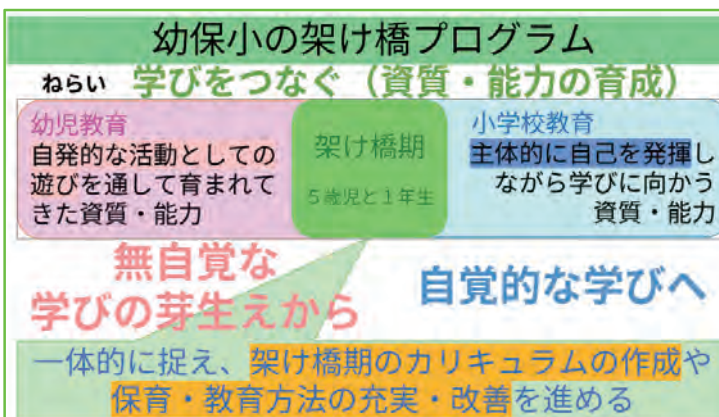
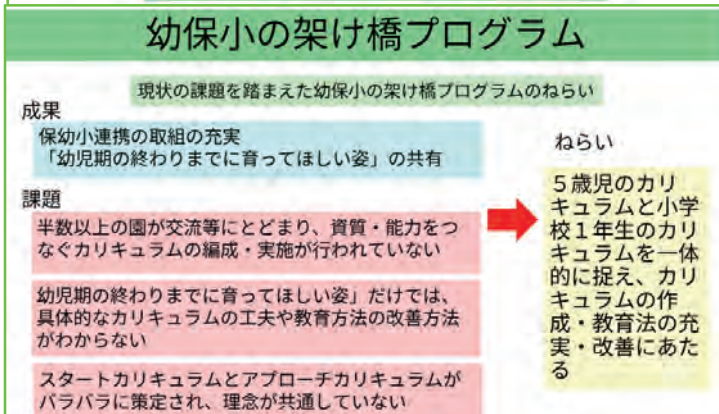
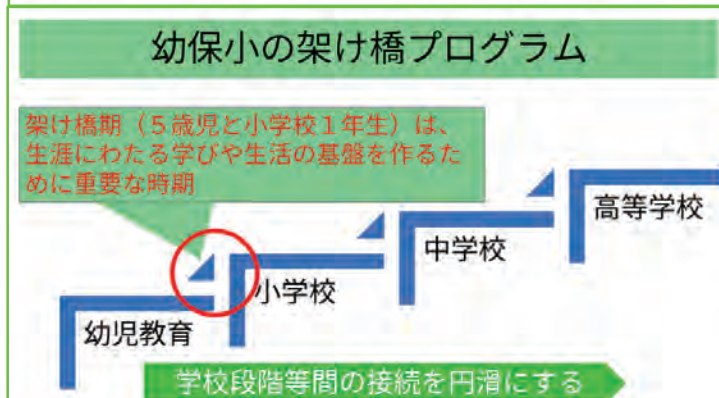
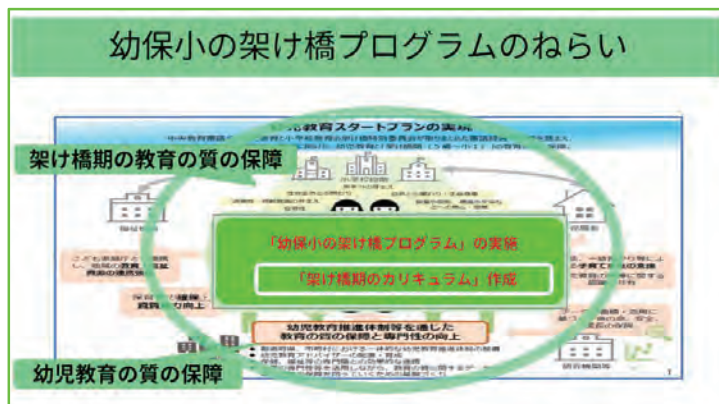
舞鶴市保幼小架け橋プログラム報告

令和7年度 舞鶴市保幼小架け橋プログラム推進事業概要

国においては、「中央教育審議会 幼児教育と学校教育の架け橋特別委員会」がとりまとめた審議まとめを踏まえ、持続可能な社会の創り手の育成に向け、「幼児教育」と「架け橋期の教育」の質を保障するために、令和4年度（2022年度）に「保幼小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」が示されました。その中で、5歳児から1年生までの2年間の「架け橋期」と称し、「子供の生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるため、架け橋期の教育の充実が必要」として「保幼小の架け橋プログラム」の実施をしていくこととなりました。また、2年間だけでなく、その前後も含めて0歳から18歳までの学びの連続性が大事とされています。「一人一人が、将来、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」ことができるように、指針や要領、学習指導要領を理解し、充実した教育を「架け橋期」とそれにつながる時期、さらにその後の時期を通じて目指していくことが求められています。

「保幼小の架け橋プログラム」は、「子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育めるようにすること」を目指すものです。文部科学省においては、令和4年度から令和6年度の3年間をかけて「保幼小の架け橋プログラム」のモデル地域において調査研究が行われ、その成果や課題を踏まえて、本市においても、令和7年度より「舞鶴市保幼小架け橋プログラム推進事業」（以下、「架け橋プログラム」）として取り組むこととなりました。

本市においては、これまでから乳幼児教育と学校教育をつなぐ取組として、「保幼小連携」に関する取組を実施してきた経過があります。連携協力園校による5歳児と1年生の連携活動では、単なる交流ではなく、学びを深める、学びをつなぐ内容となるように、1年生では、乳幼児期の学びをいかしたスタートカリキュラムを作成し、その工夫を行うようにすすめてきました。また、保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園（以下、園）の保育者と小学校の教員と一緒に学び合う研修を行い、研修を通じて、互いの保育・教育の理解を図ってきました。しかし、「保幼小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」にも示されているように、本市においても「～略～





架け橋プログラム報告

行事の交流等にとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない」「スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムがバラバラに策定され、理念が共通していない」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」だけでは、具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善方法がわからない」などの課題は見えてきました。課題の解決に向けて、これまでの取組の成果を引き継ぎつつ、さらに充実したものとなるよう取り組んできた経過を報告します。

舞鶴市保幼小架け橋プログラム

これまでの「保幼小連携」あらため、新たに「保幼小架け橋プログラム」として取り組むため、以下のように名称を変更しました。

変更前	変更後
保幼小連携活動	保幼小架け橋活動（架け橋活動）
連携協力園校	架け橋協力園校（協力園校）
保幼小連携研修	保幼小架け橋研修（架け橋研修）
保幼小接続コーディネーター	保幼小架け橋コーディネーター（架け橋コーディネーター）

【目的】

舞鶴市乳幼児教育ビジョンの基本方針「主体性を育む乳幼児教育の推進～みんなでつながり育む舞鶴のこども～」の実現に向け、乳幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋期の保育・教育の質の向上を図る

【取組内容】

1 保幼小架け橋プログラム検討会議

（1）目的

保幼小架け橋プログラム検討会議（以下、「架け橋検討会議」）は、本市における乳幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋期の保育・教育の質の向上を図るため、保幼小架け橋プログラムを実施し、その推進に向けた取組等について幅広く意見を聴くことを目的とする

（2）委員

・学識経験者、小学校長会、中学校長会、民間保育園連盟、私立幼稚園協会、公立園長会、舞鶴PTA連絡協議会、舞鶴私立幼稚PTA連合会、子育て支援関係団体、民生児童委員連盟の各代表10名

（3）会議

	日時	内容
第1回	令和7年7月31日（木） 10時～11時30分	・架け橋プログラムについて趣旨説明 ・舞鶴市の現状、課題、保幼小架け橋プログラムについて ・意見交換
第2回	令和8年2月19日（木） 15時～16時30分	・舞鶴市保幼小架け橋プログラムの進捗状況について ・意見交換

舞鶴市保幼小架け橋プログラム

舞鶴市乳幼児教育ビジョンの基本方針「主体性を育む乳幼児教育の推進～みんなでつながり育む舞鶴のこども～」の実現に向け、乳幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋期の保育・教育の質の向上を図るため、保幼小架け橋プログラムを実施します。

- 保幼小の架け橋プログラム検討会議の設置
- モデル園校によるカリキュラム(案)の作成
(橋幼稚園、うみべのもりこども園、三笠小学校)
- 架け橋協力園校による架け橋活動の充実
- 保幼小架け橋研修の実施
- 保幼小架け橋コーディネーター等による訪問サポート
- 架け橋活動実践ドキュメンテーションの作成(報告書)

2 保幼小架け橋カリキュラム（案）の作成

（１）目的

「主体性を育む乳幼児教育の推進～みんなでつながり育む舞鶴のこども～」を基本理念とした「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」に基づき、乳幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋期の保育・教育の質の向上を図るため、令和７年度より「舞鶴市保幼小架け橋プログラム」の取組を実施する。その取組の中心である「架け橋期のカリキュラム」を、モデル園校において先行して作成、検証・改善し、本市全体への普及を図る

（２）モデル園校

- ・舞鶴市立三笠小学校
- ・学校法人橘学園 橘幼稚園
- ・舞鶴市立うみべのもりこども園

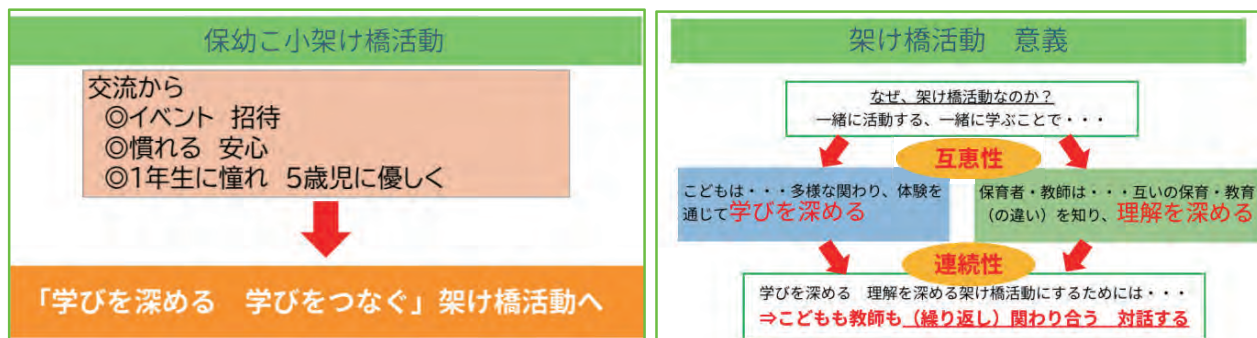
（３）会議

	日時	場所	内容
第１回	令和７年７月１４日	三笠小学校	各園・校のカリキュラム、教育課程の交流
第２回	令和７年８月２７日	橘幼稚園	三笠小学校区架け橋期のめざすこども像の検討
第３回	令和７年１１月２６日 令和７年１１月２７日	三笠小学校 うみべのもりこども園	園・校別 カリキュラム（案）作成に向けたワーク
第４回	令和７年１２月２２日	うみべのもりこども園	園・校合同カリキュラム（案）作成に向けたワーク

※主な参加者：校長、教頭、主幹教諭、１年生担任 園長、保育主幹、５歳児担任

事務局：学校教育課指導主事 乳幼児教育センタ架け橋コーディネーター

3 架け橋協力園校による架け橋活動の充実



協力園校による５歳児と１年生の架け橋活動は、イベントに招待するなどの交流から一歩進め、「学びを深める 学びをつなぐ」架け橋活動を目指し、充実を図ってきました。

架け橋活動に取り組む意義は、互惠性・連続性にあります。こども達にとっては、一緒に活動する、一緒に学ぶことで多様な関わり方や体験を通じて学びを深めることができます。また、保育者・教師は、互いの保育・教育（の違い）を知り、理解を深め、自分の実践に厚みがでることになります。連続性をもって、繰り返しこども同士が関わり合い、保育者・教師が対話することを大切にしていくことで、互惠性を感じる活動となります。

架け橋活動の計画作成と事前の打ち合わせでは、具体的に「架け橋活動において期待するこどもの姿」についてそれぞれ担任しているこども達の姿を交流し、「幼児期までに育ってほしい姿」を手がかりに、期待する姿やこどもにつけてほ



架け橋プログラム報告

しい力を明らかにし、そして、協力園校でその期待することの姿を目指し、具体的に行う活動や環境の工夫などを考えます。事後の振り返りでは、活動で見取ったこどもの様子から、学びの姿はどうだったのかを話し合っ共有したり、次の活動にいかしたりすることに取り組みます。また、育ちや学びの姿を見取っていく手立てとして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用します。特に、架け橋活動で意識してほしいこどもの姿は、「自立心」「思考力の芽生え」「言葉による伝え合い」「協同性」の4つの姿です。

そして、単なる交流から一歩進め、「期待することの姿」を目指した架け橋活動にするために、4つの視点を大事にします。

1つ目は、こどもの興味や関心をいかすことです。こども達の中で、今、流行っている遊びや活動、遊んだ経験や学習した経験があることをいかしたり、反対に全く知らないことでも、協力園校から紹介してもらい好奇心がわくこともあります。また、架け橋活動の内容が決まったら、その前後にこども達と相談し、意欲を高めることが大切です。主体性を育むことにもつながります。

2つ目は、ペアやグループ、または全体で、一緒に活動することで、自然と対話がうまれるようにすることです。「教える」「教えられる」「教えるために準備して…」というのではなく、5歳児も1年生も自己発揮し、自然と対話がうまれるような活動を考え、工夫することが必要です。また、「できた」「できなかった」という結果よりも、こどもが思考したり、繰り返し工夫したりと、試行錯誤できる活動がポイントです。

3つ目は、環境や教材を工夫することです。よりこども達の考えや工夫が引き出され、学びのあるものとなります。園は、環境の構成をとて工夫しているのでそのよさに学び、いかすことがポイントです。ねらいに応じて、発想が広がる材料を準備したり、反対に、考えや工夫を引き出すために、材料をある程度しぼることも考えられます。また、必要な道具がそろっていることや、安心感につながるグループ活動をするミニテーブルなどの居場所づくりも大切にしたいことです。

4つ目は、何よりも学びを引き出す保育者や教師の言葉がけや待つ、見守るなどの関わりです。「学びを引き出す」には、待って見守る時間も必要です。また、困っている子に寄り添って、個別に促す言葉をかけることも必要です。こども達の持っている考えを引き出すタイミングのよい問いかけや、共有したい気付きやこどもの学びの姿を見出すまなざしを持ちたいものです。



◎ こどもの興味・関心（意欲、好奇心など）

主体性を大事にするために…

- 園での遊びや小学校での学習をいかす
- はじめてのことに好奇心がわく
- 架け橋活動当日に向け、意欲を高める

◎ 環境の工夫（教材）

共通の視点 活動やこども像を引き出す

- 園での豊かな環境をいかす
- 発想が広がる材料がある
考えることを引き出すため材料をしぼる
- 必要な道具がそろっている
- 居場所がある（安心感）

◎ 一緒に活動（つくる、対話するなど）

共通の視点 プロセスをつなぐ

- 5歳児も1年生も自己発揮できる活動
- 試行錯誤できる活動（思考する、工夫する）
- ペアで、グループで対話できる活動

◎ 学びを引き出す関わり（待つ、問いかけなど）

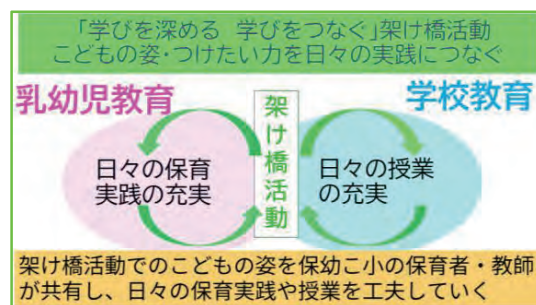
共通の視点 保育者・教師の関わりや役割

- 待って見守る
- 個別にそっと言葉をかける
- 問いかけによって考えを引き出す
- 共有したい気付きを見出す

架け橋プログラム報告

今後も、こうした4つの視点をもとに架け橋活動を行い、子どもにとっても、保育者・教師にとっても互恵性・連続性ある活動を目指していきます。また、架け橋活動でのこどもの姿や保育者・教師の関わりから学んだことを日々の保育実践や授業にいかすことも必要です。

※架け橋活動の様子は、乳幼児教育の質の向上研修ニュースレター号外、6号参照



4 保幼小架け橋研修の実施

乳幼児期の学びをいかしたスタートカリキュラムの作成やその工夫を行うための研修、単なる交流ではなく、学びを深める、学びをつなぐ架け橋活動となるように、互恵性・連続性を意識した研修を実施しました。また、小学校の教師が保育を参観し、こどもの姿から遊びの中の学びを見取ったり、保育者の関わりから学んだりする公開保育や、園の保育者が小学校の授業を学びの視点をもって参観する公開授業を行いました。いずれも、教師と保育者が対話を通じて、相互理解を図る機会となっています。

	日時	場所	対象	内容
第1回	令和7年4月4日	オンライン	小学校 教務主任 1年生担任	「架け橋プログラム」「スタートカリキュラム」について
第2回	令和7年4月23日	オンライン	各園 架け橋担当者 5歳児担任	「架け橋プログラム」「架け橋カリキュラム」について
第3回	令和7年5月15日	中保育所	小学校 1年生担任 各園 5歳児担任 等	「公開保育～架け橋期の学び」「架け橋活動」について
第4回	令和7年11月10日	余内小学校	各園 5歳児担任 等	「公開授業～架け橋期の学び」
第5回	令和8年1月15日	中総合会館	小学校 1年生担任 各園 5歳児担任 等	「協力園校架け橋活動と各自の実践の振り返り」

5 保幼小架け橋コーディネーターによる訪問サポート

架け橋協力園校の架け橋活動やその事前事後の打ち合わせに架け橋コーディネーターが出向き、互恵性、連続性のある活動になるように、また、保育者と教師が対話を通じて理解を深めることや、日々の保育実践、授業の充実につながるようサポートを行いました。

令和8年1月末現在

項目	訪問回数
事前事後の打ち合わせ・振り返り	11回
架け橋活動の参加	22回

※詳細は、事業一覧を参照



架け橋活動ドキュメンテーション報告

保育所・幼稚園・認定こども園では、保幼小架け橋協力園校の5歳児と1年生による「学びを深める 学びをつなぐ架け橋活動」に取り組んでいます。その充実に向け、期待するこどもの姿を共有し、以下の4つの視点にもとづき、取組をすすめています。

- ◆ こどもの興味・関心から（意欲、好奇心など）
- ◆ 一緒に活動する（つくる、対話するなど）
- ◆ 環境の工夫（教材）
- ◆ 学びを引き出す関わり（待つ、問いかけなど）

ドキュメンテーション報告では、上記の視点をふまえ、5歳児と1年生が、主体的に環境と関わりながら、**気付いたり、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりして、夢中になって遊びこむ姿**について記し、その中に見られる育ちや学びを**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**で表しています。

※架け橋活動では特に、「自立心」「思考力の芽生え」「協同性」「言葉による伝え合い」の4つの姿を意識して実施しています。

※吹き出しの言葉は… 5歳児：青 1年生：黒 保育者・教師：緑

保幼小架け橋協力園校

小 学 校	保 育 園	幼 稚 園	認定こども園
新舞鶴小学校			朝日幼稚園 シオン幼稚園 昭光保育園
三笠小学校			橘幼稚園 うみべのもりこども園
倉梯小学校		倉梯幼稚園	
倉梯第二小学校		ひばり幼稚園	さくらこども園 森の子ら幼稚園
与保呂小学校	やまもも保育園		
志楽小学校		志楽幼稚園	タンポポこども園
朝来小学校			朝来幼稚園
大浦小学校			平こども園
中舞鶴小学校	中保育所		中舞鶴幼稚園
明倫小学校		三鶴幼稚園	舞鶴こども園
吉原小学校			相愛こども園
余内小学校			東山こども園 舞鶴聖母幼稚園
池内小学校		池内幼稚園	
中筋小学校		池内幼稚園	なかすじこども園
福井小学校			ルンビニこども園
高野小学校			永福こども園
岡田小学校			岡田こども園
由良川小学校	八雲保育園		